

2 山梨県の可能性と課題

(1) 山梨県の可能性

将来にわたって本県が発展していくために生かすことができる可能性としては、日本全体で共通しているグローバルな成長とICTの発展、本県の特徴である蓄積された地域資源、交通環境等の改善、優れた生活環境に関する項目として、以下のようなものが考えられます。

〈グローバルな成長とICTの発展〉

- ① 近隣のアジア諸国の高い成長率
- ② 国内でも成長率の高い東京都に近接
- ③ TPP等による巨大な経済圏の誕生
- ④ オリンピック・パラリンピック開催を契機とした外国人旅行者の更なる増加
- ⑤ ICTの活用による省力化、付加価値の高い製品・サービス

〈蓄積された地域資源〉

- ① 機械電子産業の集積
- ② 世界遺産富士山をはじめとする観光資源
- ③ 収穫量が全国第1位のぶどう、もも、すももなどの果樹農業
- ④ 木材として利用可能な人工林の増加
- ⑤ ワインや日本酒、ジュエリー、織物などの特色ある地場産業
- ⑥ 水力や太陽光などを活用した再生可能エネルギー

〈交通環境等の改善〉

- ① 中部横断自動車道による広域的物流体系等の確立
- ② リニア中央新幹線の開業による大都市圏との時間短縮
- ③ 自動運転の実用化

〈優れた生活環境〉

- ① 全国でも最高水準の健康寿命
- ② 女性や高齢者の高い有業率

(2) 山梨県の課題

将来に向けた発展を実現していくためには、(1)で整理した可能性を活用しながら、以下のような課題を解決していく必要があります。社会面や環境面の課題については、日本全体として解決していく課題でもあります。経済面については、特に本県の特徴を生かしながら取り組んでいく必要があります。

〈経済面〉

- ① 第4次産業革命などに対応した産業構造への変換
- ② アジア諸国等への果実などの輸出増加
- ③ 観光消費額の伸び悩み
- ④ 情報通信産業等の集積
- ⑤ リニア開業効果の全県への波及
- ⑥ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

〈社会面〉

- ① 若年層の県外への流出
- ② ICTの進歩など時代に対応した人材育成
- ③ 子育て支援、働き方改革等による誰もが活躍できる環境づくり
- ④ 医療・介護・福祉で必要な人材の確保
- ⑤ 高齢者等の移動手段の確保
- ⑥ 電話詐欺対策等安全な生活環境の確保
- ⑦ 個人、コミュニティ、行政の果たす役割の再構築
- ⑧ 未知なる感染症への備え

〈環境面〉

- ① 豊かな自然環境の保全と活用
- ② 地球温暖化対策の推進
- ③ 持続可能な社会への転換
- ④ 激甚化する自然災害や富士山火山噴火への備え